

○議院議員 ○○ ○○ 様

## 地方創生に向けた参議院選挙の合区の見直しについて

第24回参議院議員通常選挙で憲政史上初めて行われた合区での選挙は、地方の活性化を図るために必要な当事者である地方の意見を国政に反映する機会を失わせる結果をもたらした。良識の府である参議院の選挙に禍根を残すこととなった。

投票率が全国的に横ばいである中、合区とされた、「鳥取県及び島根県」選挙区においては島根県の投票率は持ちこたえたものの、鳥取県においては過去最低の投票率を更新し、「徳島県及び高知県」選挙区においては両県とも全国で最も低いレベルの投票率となっている。

これは、「一票の較差」を是正するため都道府県単位で果たしてきた役割を無視して弥縫策として導入された「合区」に起因して、選挙、政治が県民から縁遠くなったことによる「民主主義の崩壊」の証左であり、深刻に受け止める必要がある。

今一度、国会において我が国の民主主義において都道府県が果たしてきた役割を尊重した参議院選挙制度改革の議論を興し、参議院の選挙制度を地方の意見が国政に反映される地方創生にふさわしい仕組みとすべきである。

については、幅広な国民世論を背景として、合区による選挙制度を見直し、法律のみならず憲法の改正も視野に入れて、都道府県単位による代表が国政に参加する仕組みを構築されることを強く求める。

平成28年7月26日

鳥 取 県 知 事	平 井 伸 治
鳥 取 県 議 会 議 長	斉 木 正 一
鳥 取 県 市 長 会 長	深 澤 義 彦
鳥 取 県 市 議 会 議 長 会 長	岡 空 研 二
鳥 取 県 町 村 会 長	小 林 昌 司
鳥 取 県 町 村 議 会 議 長 会 長	光 井 哲 治